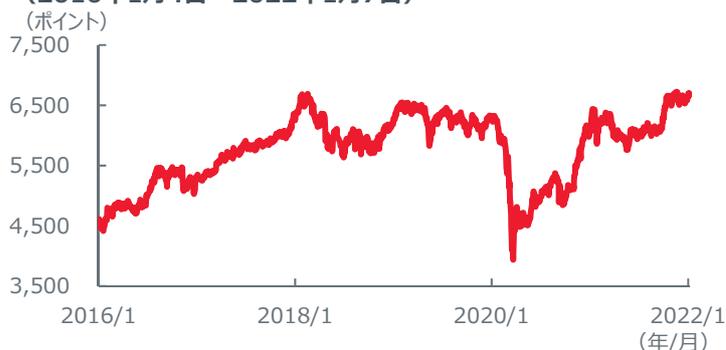


(対象期間：2021/12/27～2022/1/7)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2022年1月7日)

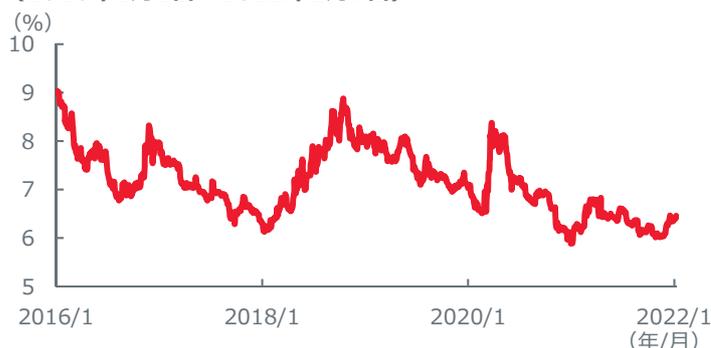


【株式市場】

12月最終週は取引高が減少する中、大手通信株のインドサットが香港の大手複合企業との合併に向け協議中との報道を受けて大幅に上昇しました。29日、政府が安価な車の贅沢税の免除を検討との報道から自動車関連株が上昇しました。年内の取引最終日の30日は利益確定売りに押され下落しました。新年は上昇して始まりましたが、オミクロン株への懸念による一部地域での行動規制の強化を受け5日に下落しました。6日も米連邦準備制度理事会（FRB）のタカ派姿勢を受けて続落しましたが、7日は上昇し、株式市場は12月24日比で上昇となりました。

2021/12/24	2022/1/7	変化率
6,562.90	6,701.32	+2.11%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2022年1月7日)

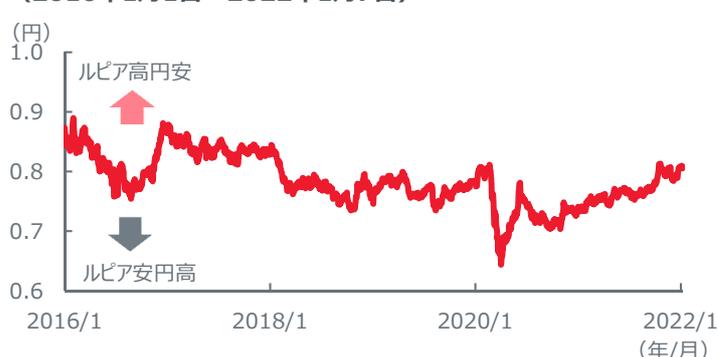


【債券市場】

12月最終週、外国人投資家からの資金流出を受けインドネシア債券利回りは上昇（価格は下落）しました。1月3日に発表された12月の消費者物価指数は、前年同月比+1.87%と2021年最大の伸び率となりました。同日、スリ・ムルヤニ財務大臣は、商品価格の高騰や内需拡大を背景に歳入が増加したため、2021年の財政赤字がGDP比で4.65%となり当初予想を大幅に下回ったと発表しました。米連邦公開市場委員会（FOMC）の議事要旨を受けて米国債利回りが大幅に上昇し、週末にかけてインドネシアの債券利回りも更に上昇しました。10年国債利回りは12月24日比で上昇しました。

2021/12/24	2022/1/7	変化幅
6.342	6.457	+0.115

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2022年1月7日)



【為替市場】

12月最終週、債券市場からの外国人投資家からの資金流出を背景にルピアは上値の重い展開となりました。また、オミクロン株への懸念も重くなりました。年初からの米国債利回りの上昇に伴いルピアはさらに弱含み、1月6日（東京時間）に公表された12月開催のFOMC議事要旨でFRBの積極的なタカ派姿勢が再確認され、利上げが想定より前倒しされるとの見方が広がったことも嫌気されました。週末にかけては株式市場の上昇などを受けて買い戻しが見られました。ルピアは12月24日比で対米ドルでは下落しましたが、対円ではやや上昇しました。

2021/12/24	2022/1/7	変化率
0.8056	0.8072	+0.20%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づき将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。